



ふくしまからはじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

トピックス

## 平成28年度全国優良経営体表彰式で (株)土っ子田島farmが受賞しました

農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会の共催による「平成28年度全国優良経営体表彰・表彰式」が、11月10日(木)にぎふ清流文化プラザ(岐阜県岐阜市)

で開催され、(株)土っ子田島farm(代表 湯田浩和氏)が、「全国担い手育成総合支援協議会会長賞(法人経営体部門)」を受賞しました。

(株)土っ子田島farmは、「“南会津の豊かな自然と四季” 私たちに与えてくれる貴重な天からの贈り物『美味しく魅力ある農産物』を最大限に引き出し、真心を込めた商品づくりを目指す」を経営理念に、花き【施設：トルコギキョウ、カラー等】83aと水稲80aを栽培している法人です。経営の特徴は、花きでは、全国の産地動向や先進地情報を基に、消費者ニーズの高い品目・品種を導入し、環境に配慮した持続可能な栽培法を実践しています。また、冬期間の経営部門として、地域に先駆けて地元産大豆を主原料とした味噌等の委託加工を導入した農産加工部門による周年農業を実現し、経営の発展と収益の向上を図っています。こうした経営スタイルが、地域のリーダー的存在として、高く評価されました。

(農業振興普及部)



記念写真 湯田代表取締役  
(前列右側3番目)

## 第183号(平成28年12月)

今号の写真:薪ストーブ(コラム関連写真)

### 《目次》

#### ●トピックス

- ・平成28年度全国優良経営体表彰式で(株)土っ子田島farmが受賞しました
- ・福島県林業コンクールで月田禮次郎さんが知事賞を受賞しました
- ・南会津町土地改良区が設立されました
- ・JA農産物品評会が開催されました
- ・「歩いて学ぼう 水の郷 in 落合」が開催されました
- ・第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました
- ・「畑の学校」を閉校しました
- ・南会津産森林資源活用セミナーを開催しました
- ・第8回南会津新そばまつりが開催されました
- ・平成28年度第2回安全パトロールを実施しました

#### ●コラム

- ・～木材の利用を進める～ 第4回テーマ「木の家とライフスタイル」
- 農林事務所からのお知らせ
- ・平成28年産の放射性物質全量全袋検査結果について
- ・第13回南会津産木材市の状況について
- ・エコファーマーになりませんか！

平成28年12月21日発行 福島県南会津農林事務所

## 福島県林業コンクールで 月田禮次郎さんが知事賞を受賞しました

南会津町山口在住の月田禮次郎さんは、「福島県林業コンクール」(林業経営部門)の最高賞である知事賞を受賞し、10月22日(土)にホテルバーデン(郡山市)で開催された「福島県林業コンクール 月田農園(月田さん家族)等表彰式」において表彰されました。月田さんは、昭和30年代から33haのスギ・カラマツの造林や山野草の生産、特に「ヒメサユリ」の栽培・研究に取り組むとともに、昭和48年から15年間、都会の子供たちの農林業体験活動を支援するなど、地域の指導者として活躍されています。



本年4月には、息子の祥拓さんが大学卒業とともに、家業である「月田農園」を手伝うことになり、奥さん、息子さんと3人で、農園は活気に満ちています。今後も、地域の魅力発信や農林業経営の手本として、御活躍を期待しています。

(森林林業部)

## 南会津町土地改良区が設立されました

11月2日(水)開催の設立総会を経て、南会津町土地改良区が設立されました。今後は、経営体育成基盤整備事業 田部地区の事業推進とともに地元営農者の代表として、農業用施設の維持管理等も行いながら、地域営農の活性化を推進する団体として活動していく予定です。

(企画部)



## JA農産物品評会が開催されました

「第1回JA会津よつば農産物品評会」が10月30日(日)(只見地区)及び11月3日(木)(田島地区、下郷地区)にJAまつりに合わせて開催されました。



下郷地区農産物品評会会場

それぞれの会場には、生産者が丹精込めて栽培した米や豆類等の穀類、ハクサイやダイコン、サトイモ等の野菜類、リンゴやカキ等の果樹類など、多くの出品がありました(只見：79点、田島：69点、下郷：122点)。

その結果、只見地区では山内トシ子さんのナガイモが、田島地区では星ミチヤさんのサトイモが、下郷地区では星和子さんのダイコンが、それぞれ南会津農林事務所長賞を受賞されました。

出品された農産物はいずれも品質がよく、特に上位入賞した出品物は、形や品質、色合いなどの外観品質と商品性に優れた立派なものでした。

次年度も、さらに栽培技術に磨きをかけた多くの出品があることを期待しています。

(農業振興普及部)

## 「歩いて学ぼう 水の郷 in 落合」が開催されました

10月29日(土)、下郷町落合の農業用水路において、水土里を育む普及促進事業イベント「歩いて学ぼう 水の郷 in 落合」が開催され、60名が参加しました。

当イベントは、水源や農地、農業用施設の保全管理機能の低下を防ぐため、地域住民に農村地域の現状や課題への理解を深めてもらうことを目的としています。

まずバスで養鱒公園を出発し、猿楽台地の記念碑の説明とクラインガルテンの見学を行いました。その後、徒歩で用水路沿いに取水堰である砂防ダムと取水口を見学し、河川沿いに養鱒公園に戻ってきました。



管理された用水路沿いを歩く参加者

また、下郷町土地改良区の職員指導によるバター作り体験も行われ、子供たちは約4キロの道のりを歩いた後でも元気にバター作り体験に参加していました。

(農村整備部)

## 第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

福島県では県産農林水産物の風評払拭と農林水産物の消費拡大を目的として、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを県内各地で開催しております。

当事務所では、11月6日(日)に道の駅しもごうにおいて、第3回キャンペーンを開催し、当地域の新米と地域ブランドである会津地鶏をPRし、300名以上の方が来場しました。

当日は、来場者に先着順で下郷町産の新米をうつくしまライシーホワイトからプレゼントしました。また、会津養鶏協会の協力をいただき、会津地鶏の試食も実施しました。来場者からは「おいしい！ぜひ買いたい！」と、購入先を聞かれるほどの人気がありました。さらに県産農林水産物や管内6次化商品等が当たる抽選会も行いました。



ライシーホワイトによる新米のプレゼント

(企画部)

当事務所では、引き続き県産農林水産物等の風評払拭と消費拡大の取組を実施してまいります。

## あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました

11月22日(火)、下郷ふれあいセンターにおいて、「あいづ“まるごと”ネット第2回交流会」を開催し、52名が参加しました。



交流会では、『魅力再発見！まるごと美味しい会津のアスパラガス』と題し、加工素材としてのアスパラガスに焦点を当て、JA会津よつばと白河市の(株)しらかわ五葉倶楽部の担当者を講師に招き、「会津田島アスパラ」の未利用部分を使ったペースト開発の成果発表を行いました。また、喜多方市の県立耶麻農業高等学校ライフコーディネート科の生徒2名から、餡にアスパラガスのペーストを練り込んだどら焼き「あすどら」の紹介を行ったほか、(株)山際食彩工房の山際博美代表取締役考案の「会津田島アスパラ」のペーストを使用した創作料理(葛豆腐、アイスクリーム)の披露・試食会を行いました。

当事務所では、会津地域の特産品であるアスパラガスを使用した新たな6次化商品開発と販路拡大に向け、引き続き関係者の取組を支援してまいります。

(企画部)

## 「畑の学校」を閉校しました

1月9日(水)、下郷町立旭田小学校の3年生12名及び関係者により「畑の学校」収穫祭並びに閉校式が行われました。



じゅうねん味噌を塗る様子

生徒からは「夏の間の野菜の水やりを頑張った」「自分で育てた野菜を収穫するのが楽しかった」などの感想とともに、当事業の支援に対して感謝の言葉をいただきました。

収穫祭では、今年5月に播種し10月に刈り取り・脱穀を行ったじゅうねんを使用し、下郷町のそば屋「蕎屋」の指導のもと、保護者や下郷町土地改良区職員の手助けを受けながら、子供たちはしんごろう作りを楽しんでいました。

炭火で焼いた出来たてのしんごろうは全校生徒と教職員に振る舞われ、みんな大満足でした。

この活動を通して、農業と食に興味と理解を深めていただくことができました。

(農村整備部)

## 南会津産森林資源活用セミナーを開催しました

11月30日(水)、さゆり荘において「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』」新生運動南会津地方推進本部主催による「南会津産森林資源活用セミナー」が開催され、25名が参加しました。

当日は管内森林資源を活用した特徴的な取組について「森の中にある物を常に考える。クロモジからアロマオイルを作る!」と題してNPO法人南会津はりゅう里の会の渡邊洋一氏とNPO法人みなみあいづ森林ネットワーク事務局長の松澤瞬氏による講演と「野生鳥獣の皮を利用した皮製品の商品化～命を無駄にせず活かした商品づくり～」と題して尾瀬鹿プロジェクトの小山抄子氏から講演を頂いた後、福島民報社広告局企画推進部47CLUB担当の緑川雅樹氏より講評を頂きました。



セミナーの様子

セミナーでは来場者が講演や講評者を囲んで、自由かつ建設的な意見交換が行われ、参加者が各々に森林資源活用の可能性手応えを掴んでいたようでした。

(企画部)

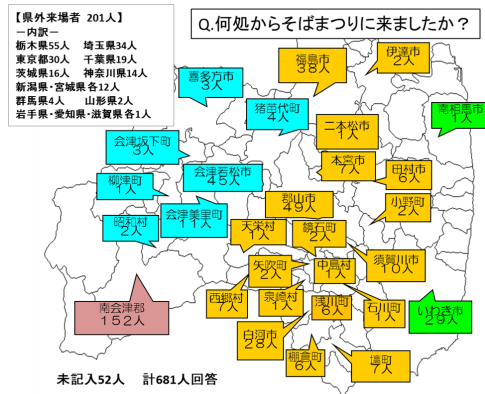
## 第8回南会津新そばまつりが開催されました

10月9日(土)、10日(日)に御蔵入交流館において南会津新そばまつり実行委員会主催による「第8回南会津新そばまつり」が開催されました。会場では南会津町や下郷町に加え、小野町から出店した計6店舗が、それぞれのこだわりを持ったおいしいそばを提供してくださいました。

初日はあいにくの雨となりましたが、県内外の各地から2日間で延べ1万人以上の方が来場し、提供されたそばは2日間で約1万1千食となりました。

当事務所では来場者アンケートを実施し、「初めて参加したが、そばをより一層好きになった。」といった南会津のそばを評価する意見をいただいたほか、「返却口やチケット売り場の場所をもっとわかりやすくしてほしい。」等、たくさんのご意見をいただきました。

今後、アンケート結果をとりまとめ、実行委員会と共有することで、次回の新そばまつりが南会



(農業振興普及部)

## 平成28年度第2回安全パトロールを実施しました

12月1日(木)、福島県南会津公共工事安全推進協議会による第2回安全パトロールが実施されました。この取組は、労働災害発生ゼロを実現する作業環境づくりを目的として、施工中の工事現場に危険な箇所や改善すべき点がないか調査・確認するものです。

パトロール後の講評会では、評価すべき点として資材等の整理整頓の徹底や、工事区域が長い現場で昇降用階段設置による作業員の負担軽減等が挙げられました。

一方、改善すべき点としては、灯油の保管場所や発電機などの近傍に消火器を常備すること、消火器の所在を明示をすること等が挙げられました。これらの改善点は当日中に処理を終え、現場の安全な作業環境が確保されました。

これから冬期を迎えるにあたり、協議会では、積雪や凍結による転倒防止などについても工事監督を通じ指導を徹底してまいります。

(総務部)



～木材の利用を進める～  
**第4回テーマ「木の家とライフスタイル」**

今年度は「木材の利用を進める」をテーマに、木材の用途や性質などについて紹介してきましたが、今回は、私自身の感覚や木材に対する考え方について述べさせていただきます。



手作りプリアンプ

私は、コンクリート造りの神社や寺に行っても、お参りしません。その建物に神仏は存在しないと感じているからです。壁や家具に木材が使われていない住宅メーカーの新聞折込みを見ると息苦しくなってきました。工場やオフィスなら仕方ありませんが、人が暮らす場所は木材でなければなりません。

木材は、壁や家具になっても呼吸します。程度はありますが、温度や湿度を常にコントロールしています。目に優しく、電球色の照明に良く合います。

私にとって居心地の良い場所とは、木の家・家具と薪ストーブ、そこにマイルス・デイヴィスが演奏する「枯葉」と煙いスコッチ(昼は好きなコーヒー)が揃った環境です。

そこで、テーブルは、自ら木を伐採し、製材し、乾燥し、加工し、天然素材で塗装する。住宅は、部材を少しずつ集め、工務店等に発注しないで大工さんを雇用して用途に応じた材質の木材をふんだんに使い、大きくない家を建てることを今から考えています。

(森林林業部 H. S)

農林事務所からのお知らせ

**平成28年産の放射性物質全量全袋  
 検査結果について**

平成28年産米の全量全袋検査は、農業者、JA、各集荷業者、各町等の御協力により、12月10日現在、南会津地方全体で296,819点(南会津町：173,019点／下郷町：69,533点／只見町：54,267点)実施しました。

検査結果は、検査開始以降5年連続で全ての米が基準値を下回り、当地域の米の安全性が改めて確認されました。検査を終えた米袋には、検査済みラベルが貼られ、販売用の精米に貼付できる精米ラベルも配布しています。これらの取組の一層の周知により、消費者の安心感をさらに高めてま

いります。

※全量全袋検査結果は、ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページで随時公表しております。是非積極的に御活用下さい。

URL: <https://fukumegu.org/ok/contents/>

(農業振興普及部)

**第13回南会津産木材市の状況について**

1月3日(木)から10日(木)にかけて会津高原だいらスキー場駐車場において「南会津産木材市」が開設され、カラマツやスギ、クリなど10種類の地元材が集まりました。

震災のあった平成23年から始まった木材市は今回で13回目を数え、出材量は目標どおりの1,200㎡で過去4番目の多さとなりました。第1回からの出材量の累計も12,000㎡を超え、当地域に必要な木材市となっています。

木材市を主催する南会津地方木材安定供給連絡会議では、昨年まで毎年、造材技術向上のための研修を行ってきました。今年度は労働安全講習会を開催し、労働災害等の防止を図っています。

南会津産の木材が地域や県内外に流通し幅広く活用される契機とするとともに、その成果を関係者のみならず県民に広くアピールしながら、今後も「南会津産木材市」を継続していく予定です。

(森林林業部)

**エコファーマーになりませんか！**

エコファーマーとは、「たい肥等を活用した土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減に取り組みながら、環境に優しい農業を行っている生産者」のことです。

ほ場に規定量のたい肥を投入すること、県が定める慣行栽培と比べて化学農薬・化学肥料を2割以上削減した栽培計画を立てて実践することなど、有機栽培の認定と比べてハードルが低く取り組みやすいのが特徴です。

将来は有機農業に取り組みたいと考えている生産者の方は、手始めにエコファーマーにチャレンジしてみませんか？

詳細については、農業振興普及部経営支援課まで、お電話下さい。

電話番号：0241-62-5264

(農業振興普及部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。